

プログラム

8月17日 (月)

13:00 - 13:30

13時に中央セミナー室に集合 開会式 (部屋割り発表)

セッション1

司会：須田孝司

13:30 - 14:15

研究発表 1 横田秀樹・若槻瑞穂 (静岡文化芸術大学)

NP-DP のマッピングエラー—日本語母語話者による所有格の習得—

14:15 - 15:00

研究発表 2 田村知子 (静岡大学)

On the Acquisition of English Prefixes among Japanese EFL Learners

15:00 - 15:30

休憩 (長期間セミナー室 B へ移動)

セッション2

司会：稲垣俊史

15:30 - 16:15

研究発表 3 岡山 涼 (名古屋大学)

日本語学習者による日本語名詞修飾節の理解

16:15 - 17:00

研究発表 4 Jones, Sally Ann (名古屋大学)

The L2 acquisition of the Japanese -te form by L1 English speakers

17:00 - 17:45

研究発表 5 大熊富季子 (静岡県立大学)

The Interface Hypothesis and ambiguity resolution in L2 Japanese

18:00 - 20:00

夕食・入浴など

20:00 - 21:30

ワークショップ

担当：若林茂則

第二言語習得および使用に関する研究について：知っておくべき古典的研究

8月18日 (火)

8:00 - 8:30

朝食

セッション3

司会：横田秀樹

8:45 - 9:30

研究発表 6 柳沢明文 (信州大学)

第二言語語彙学習における意味想起と形式想起の機会の影響

9:30 - 10:15

研究発表 7 岩崎永一 (早稲田大学)

There 存在文の意味論：変項詞としての there

10:15 - 10:30

休憩

10:30 - 12:00

ポスター発表

担当：須田孝司

吉田璃子 (中央大学)

The Acquisition of the Present Perfect Form—なぜ現在完了形は難しいのか—

松元貴之・清水瞬 (中央大学)

「動作動詞・状態動詞」と「単純形・進行形」と時を表す副詞「毎日」「今」の共起に関する日本人の英語学習者の判断

藤井博之・市嶋拓也・星野涼平 (中央大学)

Do Japanese learners of English recognize Stage-level and Individual-level Collocation Restrictions?

12:00 - 12:45

昼食

セッション4

司会：若林茂則

13:00 - 13:45

研究発表 8 大山健一 (東京電機大学)

現代版「接続」仮説の提唱—有標素性仮説と音声優位性仮説の適応と課題—

13:45 - 14:30

研究発表 9 久米啓介 (南山大学)

日本人 L2 英語学習者の冠詞習得における意味素性の役割

14:30 - 14:45

休憩

セッション5

司会：須田孝司

14:45 - 15:30 研究発表 10 樋田智美 (京都大学)

言語学・心理学・音楽学・脳科学からみる SLA 研究への学際的考察: 言語能力と音楽的能力の相互作用

15:30 - 16:15 研究発表 11 望月孝太 (静岡大学)

日本人英語学習者による be+ing の習得

16:15 - 16:30

休憩

16:30 - 17:30

チュートリアル

担当：稲垣俊史

第二言語習得研究の要旨の書き方

18:30 -

懇親会

8月19日 (水)

8:00 - 8:30

朝食

8:45 - 9:15

閉会式・記念撮影

チェックアウト